

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月26日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 キムラ

コード番号 7461 URL <http://www.kimuranet.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木村 勇介

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 新榮 功明

TEL 011-721-4311

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	21,819	△3.3	1,453	△9.9	1,451	△8.8	642	△11.7
26年3月期第3四半期	22,565	4.2	1,612	22.4	1,592	23.2	727	23.5

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 955百万円 (△4.3%) 26年3月期第3四半期 997百万円 (27.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	43.28	—
26年3月期第3四半期	49.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	18,144	10,283	47.4
26年3月期	16,665	9,476	48.1

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 8,599百万円 26年3月期 8,008百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,530	0.4	1,701	2.6	1,700	4.0	738	0.8	49.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	15,180,000 株	26年3月期	15,180,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	347,124 株	26年3月期	346,824 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	14,832,936 株	26年3月期3Q	14,834,905 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。業績予想等の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

[添付資料の目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策・金融政策により緩やかな回復基調にあるものの、一方で消費税率引き上げの影響により個人消費に弱さが見られるなど、依然として不透明な状況で推移しております。

このような情勢のもと、卸売事業では、新設住宅着工の低迷状況が続いている市場環境のもと、提案営業の強化対策の一環として、当社扱い品の自然素材を使ったナチュラル系提案住宅「スコーグのいえ」のモデルハウスを建設し、販売店様、工務店様の営業支援活動を推進してまいりました。小売事業では、消費低迷、競争激化の状況の中、多くのお客様に来店していただくための対策として、価格、品揃え、多様なイベント企画などの施策を継続して実施してまいりました。

当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高218億19百万円(前年同四半期比3.3%減)、営業利益14億53百万円(同9.9%減)、経常利益14億51百万円(同8.8%減)、四半期純利益6億42百万円(同11.7%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(卸売事業)

今年度11月までの全国の新設持家着工は前年累計比23.6%減、北海道では22.0%減で推移するなど、消費税増税後の市場環境は厳しい状況が続いておりますが、「スコーグのいえ」や、床材を中心とした輸入関連商品などの新商品提案を行ってきた結果、売上高86億71百万円(前年同四半期比5.4%減)、営業利益7億55百万円(同11.8%減)となりました。

(小売事業)

消費税増税後の消費低迷の回復がみられず、売上高は125億19百万円(前年同四半期比2.1%減)となっておりますが、継続的な値入改善施策により利益率が0.6%改善しております。また、経費は人件費の増加から前年比0.8%の増加となっており、営業利益は7億71百万円(同4.8%減)となりました。

(不動産事業)

賃貸資産の運用により、売上高1億54百万円(前年同四半期比2.1%増)、営業利益92百万円(同8.2%減)となりました。

(足場レンタル事業)

年度当初から昨年に引続いた職人不足でスタートする中、新設住宅着工は低水準で推移しておりますが、住宅リフォームが堅調であったことと、大型現場の受注が増加したことにより、売上高は4億75百万円(前年同四半期比4.3%増)、営業利益は人件費を含めた営業費用の減少があったことから93百万円(同23.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は181億44百万円となり、前連結会計年度末に比べて14億78百万円の増加となりました。これは主に、売掛債権2億54百万円の増加と、現金及び預金が5億94百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は78億60百万円となり、前連結会計年度末に比べて6億71百万円増加しております。これは主に、仕入債務が7億82百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は102億83百万円となり、前連結会計年度末に比べて8億6百万円増加しております。1株当たりの純資産は579円75銭となり、前連結会計年度末に比べて39円83銭増加しております。

なお、自己資本比率は47.4%（前連結会計年度末は48.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第4四半期（1月から3月）の業績は、当社グループの主力市場である北海道内においては、降雪等の気候変動の影響があることから通期での業績判断が難しいため、現時点において通期の業績見通しにつきましては、平成26年4月28日付「平成26年3月期決算短信」において発表しております平成27年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,574,327	2,168,745
受取手形及び売掛金	1,893,931	2,148,097
商品	2,330,246	2,797,171
販売用不動産	158,172	152,229
その他	340,169	298,838
貸倒引当金	△3,469	△2,970
流動資産合計	6,293,378	7,562,112
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,533,911	4,435,858
土地	2,405,789	2,369,118
その他(純額)	2,186,495	2,186,867
有形固定資産合計	9,126,196	8,991,844
無形固定資産	12,916	19,955
投資その他の資産		
その他	1,240,348	1,578,175
貸倒引当金	△7,236	△7,848
投資その他の資産合計	1,233,112	1,570,326
固定資産合計	10,372,225	10,582,127
資産合計	16,665,604	18,144,239
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,975,325	2,757,587
短期借入金	1,370,000	1,607,500
未払法人税等	386,553	327,308
賞与引当金	113,052	116,200
その他	584,961	658,989
流動負債合計	4,429,893	5,467,584
固定負債		
長期借入金	1,675,000	1,345,000
役員退職慰労引当金	37,730	37,730
退職給付に係る負債	247,033	238,268
資産除去債務	228,940	232,408
その他	570,392	539,977
固定負債合計	2,759,096	2,393,384
負債合計	7,188,989	7,860,968

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	793,350	793,350
資本剰余金	834,500	834,500
利益剰余金	6,312,856	6,806,561
自己株式	△132,815	△132,934
株主資本合計	7,807,891	8,301,476
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	74,832	171,266
繰延ヘッジ損益	△861	△233
土地再評価差額金	126,906	126,906
その他の包括利益累計額合計	200,877	297,940
少数株主持分	1,467,846	1,683,853
純資産合計	9,476,614	10,283,270
負債純資産合計	16,665,604	18,144,239

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	22,565,309	21,819,901
売上原価	17,132,682	16,491,490
売上総利益	5,432,626	5,328,410
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	1,568,141	1,563,020
賞与引当金繰入額	106,386	116,200
退職給付費用	22,560	22,365
貸倒引当金繰入額	1,800	363
その他	2,121,554	2,173,151
販売費及び一般管理費合計	3,820,441	3,875,101
営業利益	1,612,184	1,453,309
営業外収益		
受取利息	485	562
仕入割引	68,223	65,061
その他	32,738	25,764
営業外収益合計	101,447	91,387
営業外費用		
支払利息	45,284	32,425
売上割引	57,080	59,121
デリバティブ評価損	9,423	—
その他	9,483	1,621
営業外費用合計	121,272	93,168
経常利益	1,592,359	1,451,529
特別利益		
固定資産売却益	—	2,129
役員退職慰労引当金戻入額	20,000	—
受取保険金	—	9,374
特別利益合計	20,000	11,503
特別損失		
固定資産除売却損	3,511	854
特別損失合計	3,511	854
税金等調整前四半期純利益	1,608,847	1,462,178
法人税、住民税及び事業税	581,147	616,823
法人税等調整額	79,544	△12,080
法人税等合計	660,692	604,742
少数株主損益調整前四半期純利益	948,155	857,436
少数株主利益	220,947	215,399
四半期純利益	727,207	642,036

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	948,155	857,436
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47,458	96,438
繰延ヘッジ損益	2,267	1,232
その他の包括利益合計	49,726	97,670
四半期包括利益	997,881	955,106
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	775,745	739,099
少数株主に係る四半期包括利益	222,136	216,007

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I. 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	卸売事業	小売事業	不動産事業	足場レンタル 事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	9,168,219	12,790,699	150,896	455,493	22,565,309
セグメント間の内部売上高 又は振替高	495,564	7,205	16,992	—	519,761
計	9,663,784	12,797,904	167,888	455,493	23,085,070
セグメント利益	856,663	810,872	100,449	76,163	1,844,148

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,844,148
セグメント間取引消去	2,940
全社費用(注)	△234,904
四半期連結損益計算書の営業利益	1,612,184

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ. 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	卸売事業	小売事業	不動産事業	足場レンタル 事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	8,671,105	12,519,600	154,071	475,123	21,819,901
セグメント間の内部売上高 又は振替高	484,571	4,556	16,992	—	506,119
計	9,155,677	12,524,156	171,063	475,123	22,326,021
セグメント利益	755,534	771,627	92,210	93,710	1,713,083

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,713,083
セグメント間取引消去	△5,737
全社費用(注)	△254,036
四半期連結損益計算書の営業利益	1,453,309

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。